

インナーハウスプレゼン部門2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属セミナーネーム（フリガナ）

フリガナ）カナガワ	フリガナ）ケイザイ	フリガナ）ゴ ハルミ
神奈川	経済学部	呉 春美 ゼミ

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ）チーム ユニ	フリガナ）アズマ ジュンペイ		
Team ユニ	東 純平	2	無

研究テーマ（発表タイトル）

保育と高齢者の明るい未来

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

保育と高齢者の明るい未来は、保育士不足による待機児童問題と高齢化社会による高齢者の貧困問題を解決する目的です。初めに現状の問題の深刻さの分析結果をお伝えします。次に新たなビジネスモデルを提案します。次にそのビジネスモデルがどのように作用し問題解決に結びつくのかの検証をお伝えします。最後にこのビジネスプランが普及・一般化した未来をお伝えします。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在、少子化高齢化が進んでいるのに、保育所のニーズは高まっている。2016年4月1日時点の待機児童者数は2万3553人であり、8年連続で2万人を超えており、背景にあるのは年功序列型賃金制度崩壊、非正規雇用増加による共働き世帯の増加であり、子どもが生まれてからも働き続けるライフスタイルが浸透している。

また、保育士の離職率(10.3%)が非常に高い。この背景から2017年度末における保育士の不足数は約7,4万人であり、潜在保育士数は76万人である。

また、日本の総人口1億2,711万人に対し、65才以上の高齢者人口は3,392万人であり、高齢化率は26.7%である。そのうち高齢者の44.9%が今後も就労していきたいと希望している。

3. 研究テーマの課題

保育施設数が増加しても保育士不足により保育する人材がいない。

高齢者が活躍できる職場環境が少ない。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

既存のビジネスプランである人材派遣会社が保育園に保育士を派遣し依頼主の保育者となることに加えて、1つ目は人材派遣会社が高齢者を保育園に派遣する。これにより、保育園は子育て経験豊富な保育人材を得ることができ、高齢者は自身の経験を活かし働くことのできる職場を得る。2つ目は人材派遣会社を経由して、保育園と教育機関を結びつける。これにより、教育機関が保育園に出す広告はマーケティング

グなどの業務を大幅に軽減して、子どもと保護者にとってより身近な存在となる。また、保育園は教育機関からの広告収入を得ることができ、そのお金を保育士の給与などの待遇改善に使用することで、離職率の低下や潜在保育士の職場復帰が大いに見込まれる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

保育士にアンケート、人材派遣会社からのフィードバック、

6. 結果や今後の取り組み

今後の取り組みとして、この新たなビジネスモデルを普及・一般化させるために、教育機関による教育相談会や各種セミナーを保育園で開催し、保育園・教育機関・保護者の関係を密接にし、ソーシャルネットワークを利用して輪を広げていく。

7. 参考文献

- ・www.mhlw.go.jp 厚生労働省 保育所等関連状況取りまとめ(平成27年4月1日)及び「待機児童解消加速プラン」集計結果を公表
- ・www.mhlw.go.jp 厚生労働省 保育人材確保のための『魅力ある職場づくり』について 平成26年8月
- ・www8.cao.go.jp 内閣府 平成28年版 高齢社会白書(概要版)

イナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

＜企画シート作成上の注意＞

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、イナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「イナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内の発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。